

14 市民スポーツの振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課		
主管課長名	小柳 邦法	電話番号	042-481-7038
関係課名 (組織順)	福祉総務課, 高齢福祉担当, 障害福祉課, 健康推進課, 緑と公園課, 指導室, 社会教育課		
目的	対象	市民	
	意図	だれもがスポーツに親しみ, 楽しむことができる スポーツを通して交流がはぐくまれる だれもがスポーツを通して心身ともに健康になる	
施策の方向	年齢や障害等を問わず, 広く市民がスポーツに親しみ, 楽しめる環境を整備します。また, ラグビーワールドカップ2019日本大会と東京2020大会を契機としたスポーツの振興を通して市民の交流が盛んになるまちを目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和3年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p>施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)</p>	
<p>(14-1 スポーツ環境の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共建築物維持保全計画を踏まえ市民が安全で快適に利用できるよう, 総合体育館の特定天井及びび床等改修工事を実施する等, 施設の整備・維持管理を実施した。 総合体育館及び大町スポーツ施設体育館の空調設備設置工事を実施し, 利用環境の向上を図った。 各施設において新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで市民が安心してスポーツに親しむ環境づくりに取り組んだ。 調布市体育協会による総合体育館の維持管理やセブンプログラムの効果的な実施により, コロナ禍の中においても多くの市民がスポーツに親しむ機会を創出するとともに, 施設の効率的かつ効果的な活用を図った。 	<p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国際・全国スポーツ大会出場報奨金」について水泳やサッカーなど29件の報奨金を交付し, 次世代アスリートを支援した。
<p>(14-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市体育協会の「リフレッシュ体操スクール事業」では, 新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となったが, 感染対策を万全に講じた中で実施し, 市民の運動習慣のきっかけづくりに寄与した。 新型コロナウイルス感染症の影響により市民駅伝競走大会は中止となったが, 市民体育祭は各競技における感染拡大防止ガイドラインに基づき, 29競技中19競技を実施, 市民スポーツまつりも事前募集型に開催形態を変更したうえで様々なアトラクションを実施するなど, 広く市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及した。 学校開放事業では, 児童・生徒の安全確保を最優先とし, 事業の中止や規模を縮小して実施した（開放プール, 地域運動会は全て中止）。 東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため, 調布市体育協会や各競技団体, プロスポーツチーム等と連携し, オンラインの活用等様々な手法で事業を実施することで, 市民がスポーツを「する」・「みる」・「支える」機会を創出した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都, 障害福祉課等と連携して設置した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」において, 東京都のモデル事業として事業を実施し, 障害者スポーツの振興を図った。 調布市体育協会, 教育委員会指導室と連携し「ジュニア陸上体験教室」を開催, 子ども達のスポーツへの関心を高めるとともに, 体力の向上を図った。 多摩地域の広域連携事業である「東京都市町村ポッチャ大会」はコロナの影響で中止となったが, 各市町村と連携し, 今後の継続開催に向けた基盤づくりに取り組んだ。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 調布市ラグビーフットボール協会, 教育委員会指導室と連携して実施した「小学生タグラグビー大会」の実施 府中市・三鷹市と連携して「三市ラグビーフェスティバル」及び5者協定を締結した東芝プレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスのホスト試合における「市民招待事業」を実施した。 ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」 「調布市障害者スポーツの振興における協議体」の活用による障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しみ, 楽しむことができる環境づくりに努めた。 東京2020大会を契機に関係性を構築してきた様々な主体と連携し, 障害者スポーツ体験会を実施した。

②調布のまちの魅力発信

・東京 2020 大会期間中では、大会関連事業のオンラインへの転換など柔軟な対応を図り、これまで関係性を構築してきた様々な主体と連携した大会の盛り上げを通じ、調布市の魅力を発信した。

(14-3 FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進)

- ・FC東京と連携したスポーツ振興を図るため、庁内のプロジェクトチームや庁内関係部署との情報交換会を活用し子どもサッカー体験教室や初心者フットサル教室等のスポーツ分野の事業のみならず、青少年の健全育成、福祉、地域振興等の様々な分野でFC東京との連携事業を実施した。
- ・東芝ブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京と連携し、市民スポーツの振興を図った。
- ・読売巨人軍やNTT 東日本バドミントン部など各種スポーツ団体とも連携した事業を実施した。

①横断的連携による施策の推進

FC 東京の株主であるホームタウン6市を取りまとめ、FC 東京の応援企画を実施し、地域全体のスポーツ振興を図った。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・NTT 東日本バドミントン部との連携事業として、市内中学校バドミントン部へのオンライン指導を実施した。
- ・東芝ブルーパス東京との連携事業として、小学生タグラグビー大会やほりて〜ぶん等を実施した。
- ・東芝ブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京との連携事業として、東京 2020 大会期間中のオンラインイベント、令和 4 年市報新春号のFC 東京も交えたインタビュー記事の掲載等を実施した。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

- ・日本車いすバスケットボール連盟や日本ブラインドサッカー協会との連携を密にし、様々な事業展開を図った。

②調布のまちの魅力発信

・FC 東京と連携した「おかえりトーキョー」企画では、市内小学校や児童館をはじめ子ども達や多くの市民による応援動画を制作、市内各所や味の素スタジアムで配信するなど、市全体での応援機運を盛り上げることによる市民スポーツの振興や市外への「FC東京のまち調布」のPRを図った。

<令和3年度における施策の成果についての総括>

- ・体育施設への空調設備の設置により利用環境の向上が図れた。
- ・市内スポーツ施設において、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで市民がスポーツを楽しめる場の提供を図った。
- ・学校開放事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない期間があったが、感染防止対策を講じたうえで市民がスポーツを楽しめる場の提供を図った。
- ・調布市体育協会と連携し、コロナ禍においても多くの市民がスポーツに親しむ機会の創出を図った。
- ・東京 2020 大会関連の事業の中止が相次ぐ中で、オンラインを活用した大会の盛り上げを図った。
- ・FC東京をはじめとする、プロスポーツチームや日本車いすバスケットボール連盟等の競技団体と様々な事業の企画・実施をする中で、連携強化を図ることができた。
- ・協議体やパラスポーツ競技団体等との連携を活用し、障害の有無に関わらずスポーツに親しむことができる機会の創出を図った。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値			目標値	達成状況※
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
1 体育施設の年間利用者数	105万 4,986 (H29)	人	91万 7,430	76万 4,987	80万 1,908	107万	○
2 運動を週に1回以上行っている市民の割合	63.9 (H30)	%	62.8	60.6	71.0	70.0	◎
3 FC東京と連携したスポーツ事業の参加者数	653 (H29)	人	523	263	257	900	▼

【特記事項】3について、スポーツ事業は「FC東京が行う調布市民支援活動に対する補助金」に該当する事業を中心に計上しているが、当該補助金事業に該当しない他の部署におけるFC東京と連携したスポーツ関連事業を含めていないこと、また、FC東京の応援企画に参加して下さった市民も含めておらず、実績値よりも多くの方が参加している。なお、昨年度までの「あおぞら交流会」は今年度から障害福祉課予算で対応していることから、人数に含めていない。

※小学生対象のサッカー教室は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

※R3年度の達成状況は、以下の区分により記号を記入

- ◎：目標値を達成
- ：前年度より向上した
- ▼：前年度より低下した
- ⇒：前年度と同じ
- ：数値未把握（調査未実施など）

◆まちづくり指標の目標達成見込み（令和4年度見込みを含めた現基本計画期間における達成度）

- ：「目標値達成に向け順調に推移」
 - ：「目標値達成は現状難しいが、前年度より向上する見込み」
 - △：「目標値達成は現状難しく、前年度と同等又は悪化する見込み」
- ・達成見込みを次の区分により記号を記入

まちづくり指標	達成見込み	要因・課題 (目標達成・未達成の要因・次期基本計画に向けた課題等)
1 体育施設の年間利用者数 (目標値：107万人 現状値：80万1908人)	○	コロナ禍における人数制限は引き続き実施することから、目標達成については難しい。
2 運動を週に1回以上行っている市民の割合 (目標値：70.0% 現状値：71.0%)	◎	引き続き、コロナ禍においても様々な主体と連携し、様々な手法でスポーツに親しむ機会の創出を図っていく。
3 FC東京と連携したスポーツ事業の参加者数 (目標値：900人 現状値：257人)	○	コロナ禍における事業手法の変更や関連部署との連携によりスポーツ振興課事業の範囲に変更が生じたため、人数としては未達成となっている。

2 令和3年度の振り返り — 評価 (CHECK)

◆施策の成果向上に向けて、令和3年度に実施した取組に対する評価
※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合評価

総合評価	A	S：「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A：「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B：「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D：「実施した取組において成果が得られなかった。」
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえでスポーツ施設を開設し、市民が安心して安全にスポーツに親しむ環境づくりに取り組んだ。 ・東京2020大会関連事業について、オンライン事業へ切り替える等柔軟な対応により大会の盛り上げを図った。 ・コロナ禍でも安心して運動することができる機会を確保するため、調布市体育協会や競技団体等様々な主体と連携し、感染防止対策を講じながら継続した運動機会を提供するとともに、市民の健康維持増進に努めた。 ・コロナ禍での健康二次被害が問題となるなど、日常におけるスポーツの重要性が改めて認識される中で、「できること」を常に考え、ニーズの高い事業を実施することができた。 	

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における施策の取組状況

・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

計画どおり・計画より進んだ取組等 (現基本計画で予定した成果が十分得られる)	今後の取組の方向 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①スポーツ施設の整備において、バリアフリー対応や熱中症予防のための空調設備の設置 ②市と体育協会、市と市民サービス公社で、それぞれ災害時における市の対応への協力に関する基本協定を締結 ③東京2020大会等を契機としたスポーツ振興における、体育協会等の関係団体や日本車いすバスケットボール連盟等の競技団体等、様々な主体との関係性の構築と連携強化 ④東京都のモデル事業としての「調布市障害者スポーツの振興における協議体」の設置、活用による障害者スポーツの振興 ⑤FC東京との連携事業の充実・発展及び近隣自治体と連携した事業実施 ⑥東芝レイブループラス東京・サントリーサンゴリアス東京等新たなプロスポーツチームとの連携 ⑦多摩地域の広域連携事業である「東京都市町村ポッチャ大会」の開催	①引き続き、施設の老朽化への対応等の整備や利用者ニーズに沿った利用環境の向上に努める ②災害時において、総合体育館及び西調布体育館での避難者の受け入れや体育協会職員の応援等、災害対応に協力し、市民の安全・安心の確保につなげる。 ③大会後のレガシーとして事業の定着・継続化を図るため、各団体との連携をより強化していく。 ④協議体の参加団体を増やし、協議体を活用した障害当事者の運動機会の創出に取り組み、スポーツを通じた共生社会の充実を図る。 ⑤FC東京との連携事業をさらに拡充し、FC東京のノウハウを活用した様々な分野での課題解決を図るとともに、市の魅力発信へ繋げる。 ⑥府中市・三鷹市と引き続き連携を図り、ラグビー競技の振興を通じた市民スポーツの振興を図る ⑦各市町村との連携を密に、今後も継続して開催することで、地域全体でのパラスポーツ振興を図る。
計画より遅れた取組等 (現基本計画で予定した成果が得られない)	遅れの理由や次期基本計画に向けた対応課題等 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①体育施設の利用者数 ②市民スポーツの活動場所の確保 ③東京2020大会を契機として新たに要望をいただいた施設整備	①②コロナの影響により令和2年度にかなり減少した利用者数は、令和3年度は回復傾向にある。コロナの感染防止対策を講じながら、施設の有効活用と活動場所の確保に努める。 ③アーバンスポーツ等、大会を契機に関心が高まっているスポーツについて、活動場所の確保の検討を行う。

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における施策の成果についての総括

- ・スポーツ施設の整備について、バリアフリー対応や空調設備設置等、利用環境の向上に努めた。
- ・報奨金制度について、国際大会出場の人・団体も対象とするよう制度改正したことで、多くのアスリートを支えることができた。
- ・東京2020大会等を契機としたスポーツ振興において、様々な主体との関係性を構築し、連携事業を実施することで、多くの市民がスポーツに親しむ機会の創出が図れた。
- ・東京都のモデル事業として設置した調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用した障害当事者のスポーツ機会の創出や日本車いすバスケットボール連盟、日本ブラインドサッカー協会等と連携した体験会等事業の実施により障害者スポーツの振興が図れた。
- ・FC東京はもちろんのこと、新たにNTT東日本、読売巨人軍、東芝ブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスと連携したスポーツ振興事業を実施することができた。

評価	A	<p>【評価区分】</p> <p>現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）に対する進捗状況について、S～Dの5段階で評価</p> <p>S：「計画以上に進捗した。予定以上の取組成果が得られた。」</p> <p>A：「計画どおりに進捗した。予定した取組成果が得られた。」</p> <p>B：「概ね計画どおりに進捗した。一定の取組成果が得られた。」</p> <p>C：「進捗にやや遅れがみられた。あまり取組成果が得られなかった。」</p> <p>D：「進捗に大きな遅れがみられた。ほとんど取組成果が得られなかった。」</p>
----	---	---

3 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況【A】（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※次期基本計画における重要な視点となる「デジタルトランスフォーメーション (DX)・スマートシティ」、「カーボンニュートラル」、「産学官連携」のほか、施策横断的なテーマである「共生社会の充実 (パラハート)」、「安全・安心 (防災・減災・防犯・感染症対策)」、「ソフト・ハードが一体となったまちづくり (中心市街地整備, 地域別まちづくり, 都市計画道路整備)」に関する状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な動向等	<p>①e スポーツについて、国民体育大会では、愛媛大会 (2017年)、福井大会 (2018年)、茨城大会 (2019年) の文化プログラムとして実施。スポーツ庁は明確な方針を明らかにしていないが、経済産業省ではeスポーツの発展に向けた取組を実施。</p> <p>②スポーツ庁は、令和4年3月に策定した「第3期スポーツ基本計画」において、スポーツ界におけるDXの導入 (VR・ARや先進的なデジタル技術等を活用した、新たなスポーツ実施機会の創出、選手強化活動における分析や支援など) を位置付けている。</p>	<p>①③国や都の動向を踏まえ、障害の有無に関わらずスポーツに親しむ手法の1つとして検討を進める。</p> <p>②④スポーツ施設の利用方法や事業の実施手法等、様々な観点からDXを活用した効率的な運営方法を検討していく。なお、令和3年度にはNTT東日本バドミントン部との連携事業において、中学生へのオンライン指導の事業を試験的に実施した。</p> <p>⑤⑦「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を引き続き活用し、障害者の運動機会の創出を図るとともに、各競技団体や市内関係団体等と連携し、スポーツを通じた共生社会の充実を図る。</p> <p>⑥味の素スタジアム内の調布庁舎が当該整備地であることから、地元三市 (調布市・三鷹市・府中市) で連携し、当該施設における地元のニーズを踏まえた運用等について、東京都と協議していく。</p>
東京都や近隣自治体の動向等	<p>③東京都では産業労働局による「東京eスポーツフェスタ」を開催。</p> <p>④東京都は、都立公園スポーツ施設のキャッシュレス決済を2021年10月から開始</p> <p>⑤障害者スポーツの振興を通じた共生社会の充実に向け、調布市をモデルとした調布市障害者スポーツの振興における協議体の設置を各市区町村に広めるべく、補助金を新設。</p> <p>⑥東京都は、令和4年度中に、パラスポーツの競技力向上の拠点として、また、障害のある人もない人もパラスポーツに親しむことのできる普及振興の場として、パラスポーツトレーニングセンターを整備する予定</p>	
その他	<p>⑦東京2020大会のレガシーとして、パラハートちょうふの取組を市内の横断的な連携により、より一層推進していく必要がある</p>	

◆施策を取り巻く状況【B】(国, 東京都・近隣自治体の動向など)を踏まえた取組の方向

※上記の施策を取り巻く状況【A】の項目以外で, 法改正・制度改正などの状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	①スポーツ庁が「第3期スポーツ基本計画」を策定 ②中学校の運動部活動の在り方を検討するスポーツ庁の有識者会議において, 公立中学校で行われている休日の部活動を民間のスポーツ団体等に委ねる「地域移行」を令和5年度から段階的に進める内容の提言がまとめられた。 ③東京2020大会を契機とした, アーバンスポーツの盛り上がり	①国や東京都の計画や調布市基本計画を踏まえるとともに, 東京2020大会のレガシーとしての取組も位置付ける「調布市スポーツ推進計画」の策定に取り組む(令和6年3月策定予定) ②教育委員会と連携を密に, 様々な主体との連携により中学生の運動機会の継続的な確保を図るよう検討を進める。 ③④スケートボードやBMX等を行う施設の新設は難しくとも, 民間スポーツ施設や近隣市の施設も含めたアーバンスポーツの環境づくりを検討していく。 ⑤屋外プール特有の課題を含め, 施設の利用環境の整備や活用について, 行政経営部と連携し検討を進めていく。
東京都や近隣自治体の動向等	④スケートボードパークは多摩地域には府中市・立川市・八王子市・稲城市・府中市等に設置されている。 ⑤屋外プールの老朽化に伴い, 夏季のプールを開設しない自治体があるほか, 府中市は地域プールを廃止している。	⑥より多くの市民がスポーツを楽しむ環境づくりを進めるため, 限られた施設の有効活用のほか, 民間スポーツ施設の活用についても検討を進める。
その他	⑥民間スポーツ施設の活用	

施策 14 「市民スポーツの振興」に関する基本計画事業

計画コード	45	重点P		-
事務事業	スポーツ施設の整備			総合戦略 ●
所管部署	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係			
事業概要	<p>市民が快適で安全にスポーツ施設を利用できるよう維持保全及び改修等を行う。 調布基地跡地（留保地）防災公園やスポーツ施設の再配置、整備を検討する。 ・総合体育館・西調布体育館・テニスコート（緑ヶ丘・多摩川・深大寺） ・調布基地跡地運動広場・市民野球場・市民プール・大町スポーツ施設 ・西町野球場及び少年野球場・西町サッカー場 ・多摩川児童公園内運動施設及び各ゲートボール場</p>			
【PLAN▷DO▷CHECK】				
活動内容 （事業費ベース）	計画目標	令和3年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	○既存施設の維持保全・改修 ・総合体育館 ・西調布体育館 ・市民プール ・多摩川テニスコート ・緑ヶ丘テニスコート	○既存施設の維持保全・改修	○既存施設の維持保全・改修 ・総合体育館空調設備設置工事 ・総合体育館の特定天井及び床等改修工事 ・室内環境調査測定委託	○既存施設の維持保全・改修 <調布市総合体育館> ・体育室ほか空調整備工事 ・体育室非構造部材ほか改修工事 ・体育室非構造部材ほか改修に伴う設備工事 ・照明制御設備更新工事（繰越明許） ○その他施設修繕 等
事業費（千円）		100,000	168,429	208,791
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	市民が安全で快適に利用できるよう、総合体育館の特定天井及び床等改修工事を実施する等、施設の整備・維持管理を実施した。 ※修繕件数： 16件 調布基地跡地運動広場D1・D2グラウンド土留め修繕ほか ※工事関係： ・調布市公共施設室内環境衛生検査委託 ・調布市総合体育館体育室ほか空調整備工事 ・調布市総合体育館体育室非構造部材ほか改修工事 ・調布市総合体育館体育室非構造部材ほか改修に伴う設備工事 ・調布市総合体育館照明制御設備更新工事（繰越明許） ・調布市民大町スポーツ施設体育館空調整備工事（令和2年度繰越） ・調布市民大町スポーツ施設大運動場防球ネット増設工事（令和2年度繰越） 施設の整備にあたっては、国や東京都の補助金を活用した。			
【ACTION】				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	今後も快適で安全な魅力あるスポーツ施設とするため、利用者ニーズに沿った利用環境の向上に努め、施設の保全・改修等を行う。 施設の老朽化対応、安全確保を踏まえた今後の改修について、特定財源の確保にも努めながら、市民要望も踏まえて検討・調整に取り組む。 ◆引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じながら、市民が安心して利用できる施設管理を行う。			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策 14 「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

計画コード	46	重点P	-	
事務事業	調布市体育協会事業の支援		総合戦略 ●	
所管部署	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係			
事業概要	<p>「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の理念に基づき、市における体育・スポーツの振興を目的とした事業を行う。 (公社) 調布市体育協会への支援や相互の協力により、市における体育・スポーツの振興や、市民の健康増進及び体力向上を図る。</p>			
[PLAN▷DO▷CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	<p>○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会 等</p> <p>○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進</p>	<p>○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会 等</p> <p>○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進</p>	<p>○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会 等</p> <p>○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進</p>	<p>○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会 等</p> <p>※市民駅伝競走大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進</p>
事業費 (千円)		40,085	36,874	24,098
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input checked="" type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	<p>「リフレッシュ体操スクール事業」では、新型コロナウイルスの影響により一部中止となったものの、感染対策を万全に講じた中で実施し、市民の運動習慣のきっかけづくりに寄与した。 「市民体育祭」は感染拡大防止ガイドラインに基づき、29競技中19競技を実施した。 「市民スポーツまつり」では、新型コロナウイルス感染拡大防止策として全てのアトラクションを事前募集型に開催形態を変更したうえで、オンラインも活用した様々なアトラクションを実施するなど、市民のスポーツ・レクリエーション活動の機会を創出した。また、オリンピックやパラリンピアンによるトークショーを開催するなど、障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ機運の醸成を図った。 施設の休館や利用制限がある中においても、継続した運動機会の提供により、市民の健康維持増進に努めた。</p>			
[ACTION]				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>(公社) 調布市体育協会との連携を密にしなが、東京2020大会レガシーとして大会を契機としたスポーツ機運を定着・継続させるため、子どもから高齢者まで障害の有無に関わらずスポーツに親しむ機会の創出や環境づくりに取り組み、市内におけるスポーツ振興や市民の健康増進及び体力向上を図っていく。また、事業実施にあたっては、これまで市が構築してきた競技団体やプロスポーツチーム等の様々な主体との連携を活用し、内容のさらなる充実を図る。 調布市の三大スポーツイベントである市民体育祭、市民スポーツまつり、市民駅伝競走大会をはじめとしたイベント等の開催を通じて、誰もが気軽にスポーツに参加する機会を提供し、運動初心者からトップアスリートまでスポーツに関する多様な市民ニーズに対応し、一人一人が年齢や体力等に応じて身近な地域で活動できる環境づくりを進めていく。 ◆新型コロナウイルス感染防止策を万全に講じた上で事業を実施し、市民の継続した運動習慣やスポーツに親しむ機会の創出を図る。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策14「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

計画コード	47	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出			総合戦略 ●
所管部署	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係			
事業概要	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会の会場である東京スタジアム（味の素スタジアム）及び武蔵野の森総合スポーツプラザとその周辺施設の立地市として、スポーツだけでなく文化や産業、福祉や教育など様々な分野における市内での横断的な取組や、関係団体や競技団体等との連携体制を構築することによる大会を契機としたレガシーとしての市民スポーツの振興（特に、障害者スポーツの振興）につなげる。			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和3年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	ラグビーワールドカップ2019日本大会・東京2020大会を契機として、国や東京都、関係団体等の多様な主体と連携し、市のまちづくりへの多面的な効果を創出していく中で、とりわけパラリンピック開催を契機とした障害者スポーツの振興に取り組む。	○大会を契機としたスポーツ振興 ・障害者スポーツ体験事業 ・アスリート交流事業 ・26市連携によるポッチャ大会 ○レガシー・継続したスポーツボランティアの育成や活用の検討 ○関係団体との連携による誰もがスポーツに参加できる機会の充実	○アクション&レガシープランを踏まえた取組・実践 ○レガシーを見据えたオリンピック・パラリンピックに関する事業の実施 ○スポーツボランティアの育成 ○調布市障害者スポーツの振興における協議体の活用	○アクション&レガシープランを踏まえた取組・実践 ○レガシーを見据えたオリンピック・パラリンピックに関する事業の実施 ○調布市障害者スポーツの振興における協議体の活用
事業費（千円）		10,500	56,835	26,786
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input checked="" type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	<p>東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため、調布市体育協会等の関係団体や、日本車いすバスケットボール連盟等の競技団体、プロスポーツチーム等の様々な主体と連携し、多くの連携事業を実施することで、市民がスポーツを「する」・「みる」・「支える」機会を創出した。調布市体育協会、指導室と連携した「ジュニア陸上体験教室」の実施により、子どもの体力向上を図った。</p> <p>多摩地域の広域連携事業である「東京都市町村ポッチャ大会」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、各市町村と連携し、今後の継続開催に向けた基盤づくりに取り組んだ。調布市ラグビーフットボール協会、指導室と連携して実施した「小学生タグラグビー大会」や障害福祉課所管事業「ほりでーぶらん」に東芝ブルーパス東京に協力をいただいたほか、東芝ブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京と連携した東京2020大会期間中のオンラインイベントの実施や、令和4年市報新春号ではFC東京も交えたインタビュー記事を掲載する等、スポーツのまち調布のPRを行った。</p> <p>東芝ブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、府中市、三鷹市と連携した「三市ラグビーフェスティバル」及び「市民招待事業」を実施した。NTT東日本バドミントン部と連携した、市内中学校バドミントン部へのオンライン指導を実施した。東京都等と連携した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」では、東京都のモデル事業として学識者を招き、協議体関係者や障害当事者が参加した実践を交えた講習会を実施し、障害者スポーツの振興におけるスポーツ分野・福祉分野の連携の意義等を学んだ。</p>			
[ACTION]				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 財政面改善 <input checked="" type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>東京2020大会を契機としたスポーツ振興施策を進める中で構築してきた、様々な主体との連携をより強化し、各団体の強みを活用した事業展開を図り、様々な角度から市民スポーツの振興を図る。パラリンピックの開催を契機とした障害者スポーツの振興について、障害の有無に関わらず参加できる体験会や観戦事業等を、様々な主体と連携して実施するほか、「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用し、障害者のスポーツ機会の創出を図り、スポーツによる共生社会の充実を目指す。また、事業の実施に当たっては、特定財源の活用にも努める。</p> <p>市民ボランティアや東京都障害者スポーツ協会が提供している障害者スポーツボランティアの活用を図る。</p> <p>多摩地域の広域連携事業「市町村ポッチャ大会」やラグビー5者協定による三鷹市・府中市・ラグビー2チームとの連携事業の継続開催と充実を図り、地域全体でのスポーツ振興に努めていく。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策14「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

計画コード	48	重点P		-
事務事業	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進			総合戦略 ●
所管部署	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係			
事業概要	<p>FC東京が行う地域貢献活動を支援し、市民スポーツの振興、青少年の健全育成、福祉、地域振興等のまちづくりを協働で推進する。 また、地域のスポーツチームと連携した取組を推進する。</p> <p><実施事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサッカー体験教室・指導者講習会 ・大人向けフットサル教室 ・FC東京との定期的な情報交換会と庁内プロジェクトチームを活用した連携 ・市の事業やFC東京事業への相互協力 ・FC東京の活動を市報、市ホームページ、SNS等へ掲載し市民への周知を図る 			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	<p>○プロスポーツチームや選手等に親しむ機会を多く作り、市民のスポーツへの意欲・関心を高める</p> <p>○スポーツ振興に加え、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域振興等のまちづくりのための連携事業の実施</p> <p>○連携強化のため、定期的な交流の場を設ける</p>	<p>○サッカー教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおぞらサッカー交流会の実施 ・子どもサッカー体験教室 ○指導者講習会の開催 <p>○FC東京との情報交換や事業検討のための会議の定期的開催</p> <p>○FC東京に関する市民への情報発信</p> <p>○地域のスポーツチームと連携した取組</p>	<p>○サッカー教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサッカー体験教室 ・大人向けフットサル教室 ○指導者講習会の開催 <p>○FC東京との情報交換や事業検討のための会議の定期的開催</p> <p>○FC東京に関する市民への情報発信</p> <p>○地域のスポーツチームと連携した取組</p>	<p>○サッカー教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサッカー体験教室 ・大人向けフットサル教室 ○指導者講習会の開催 <p>○FC東京との情報交換や事業検討のための会議の定期的開催</p> <p>○FC東京に関する市民への情報発信</p> <p>○地域のスポーツチームと連携した取組</p>
事業費 (千円)		2,609	1,500	1,429
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和3年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	<p>FC東京庁内プロジェクトチームや、情報交換会を活用し、スポーツ分野のみならず、青少年の健全育成、福祉、地域振興等の様々な分野で、FC東京とのパートナーシップに基づき連携事業を実施した。働く世代のスポーツ機会の創出のため、大人向け初心者フットサル教室を平日夜間に実施した（※計画にあるあおぞらサッカー交流会は障害福祉課にて実施）。</p> <p>FC東京の株主であるホームタウン6市を取りまとめ、FC東京の応援企画を実施し、地域全体のスポーツ振興を図った。</p> <p>FC東京と連携した「おかえりトキーョー」企画では、子ども達を含む多くの市民による応援動画を制作し、市内各所や味の素スタジアムで配信されるなど、市全体での応援機運の醸成を図り、市民スポーツの振興や市外への「FC東京のまち調布」のPRを図った。</p>			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 財政面改善 <input checked="" type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>FC東京との連携事業の拡充や、ノウハウの活用により、様々な分野での課題解決を図るとともに市の魅力発信へ繋げる。</p> <p>子どもサッカー体験教室等の人気の高い事業の継続とともに、大人向け初心者フットサル教室等の新たな事業も継続するほか、関連各課との連携事業を含め、様々な世代のスポーツ振興を図る。</p> <p>FC東京との連携事業は市民の「スポーツへの意欲・関心の向上」につながることから、今後もFC東京との定期的な情報交換の機会や、庁内プロジェクト・チームを活用し、事業費の活用方法の工夫を含め、より効果的な事業の実施に努めていく。</p> <p>FC東京ホームタウン6市との連携事業の充実を図り、地域一体となったスポーツ振興を図る。</p> <p>他のJリーグチームホームタウンとの連携により、Jリーグを活用した市の魅力発信を行う。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。